

[PHPLinux版] 監視モニター

機能追加

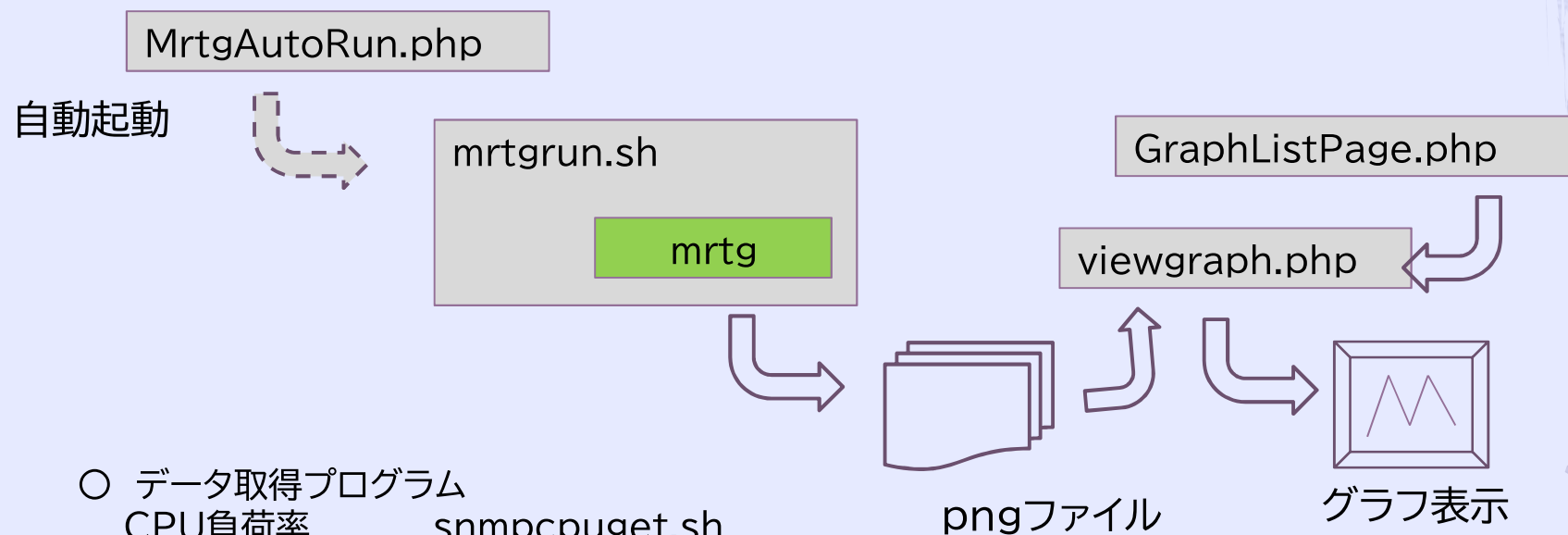
リソースグラフ機能
プロットグラフ機能

リソースグラフ機能

1. 概要

○ リソースグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php	自動起動でmrtgrun.sh呼び出す
mrtgrun.sh	mrtgでSNMPエージェントのCPU, RAM, DISKのデータを取得する
GraphListPage.php	随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する
viewgraph.php	選択されたエージェントホストのグラフを表示する



○ データ取得プログラム

CPU負荷率	snmpcpuget.sh
メモリ使用率	snmpramget.sh
ディスク使用率	snmpdiskget.sh

リソースグラフ機能

2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加
vpath_mrtgbase=<vpath_mrtghome>注
注:vpath_mrtghomeは、newmrtg.cfgが存在するディレクトリ
監視アプリではmrtg.cfgをnewmrtg.cfgとして使用
vpath_mrtg=mrtgのパス

3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する
リフレッシュ間隔はモニターインターバル
参考:perl mrtgをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

4. グラフ表示

- メニュー「リソースグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

リソースグラフ機能

5 グラフ操作

5.1 グラフを作成登録する

- メニュー「リソースグラフ」選択、グラフ未登録のホストを選択、「グラフ登録」をクリック

図 5.1.1 グラフ登録

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ未登録
<input type="radio"/> 192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ未登録

グラフ表示メール添付 **グラフ登録** グラフ削除

- MRTGグラフデータの収集間隔は、メニュー「管理情報」の監視間隔(秒)で変更可能

図 5.1.2 起動間隔

監視ホスト追加

監視ホスト修正

管理情報

ヘッダ情報

サーバー画像管理

監視間隔 SNMP間隔

120 30

送信先

mailuser@mydomain.jp

リソースグラフ機能

5.2 グラフを表示、メール添付する

- メニュー「リソースグラフ」選択、表示/メール添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

図 5.2.1 グラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果**
- リソースグラフ
- プロットグラフ

設定メニュー

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

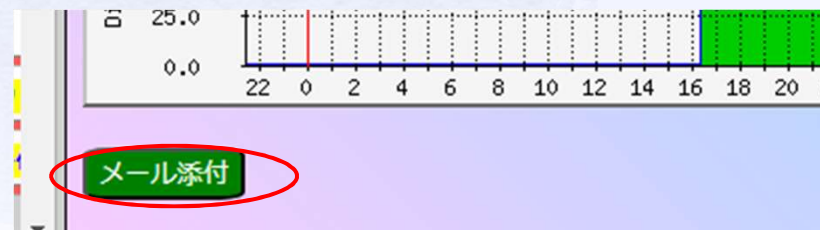
ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ未登録
<input type="radio"/> 192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ未登録

グラフ表示/メール添付 **グラフ登録** **グラフ削除**

図 5.2.2 MRTGグラフ



図 5.2.3 MRTGグラフメール送信



- メールに画像を添付して送信する
但し、ホスト情報のメールが「自動送信」であること

リソースグラフ機能

6 その他

6.1 pngファイルが出来ているのにグラフが表示されないチェックポイント

- apacheに組み込まれるmrtg.confの以下をコメントにする
Alias /mrtg /var/www/mrtg
Require local
- SELINUXをPermissiveにする

プロットグラフ機能

1 概要

○ プロットグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php

plotgraph.exe

GraphListPlotPage.php

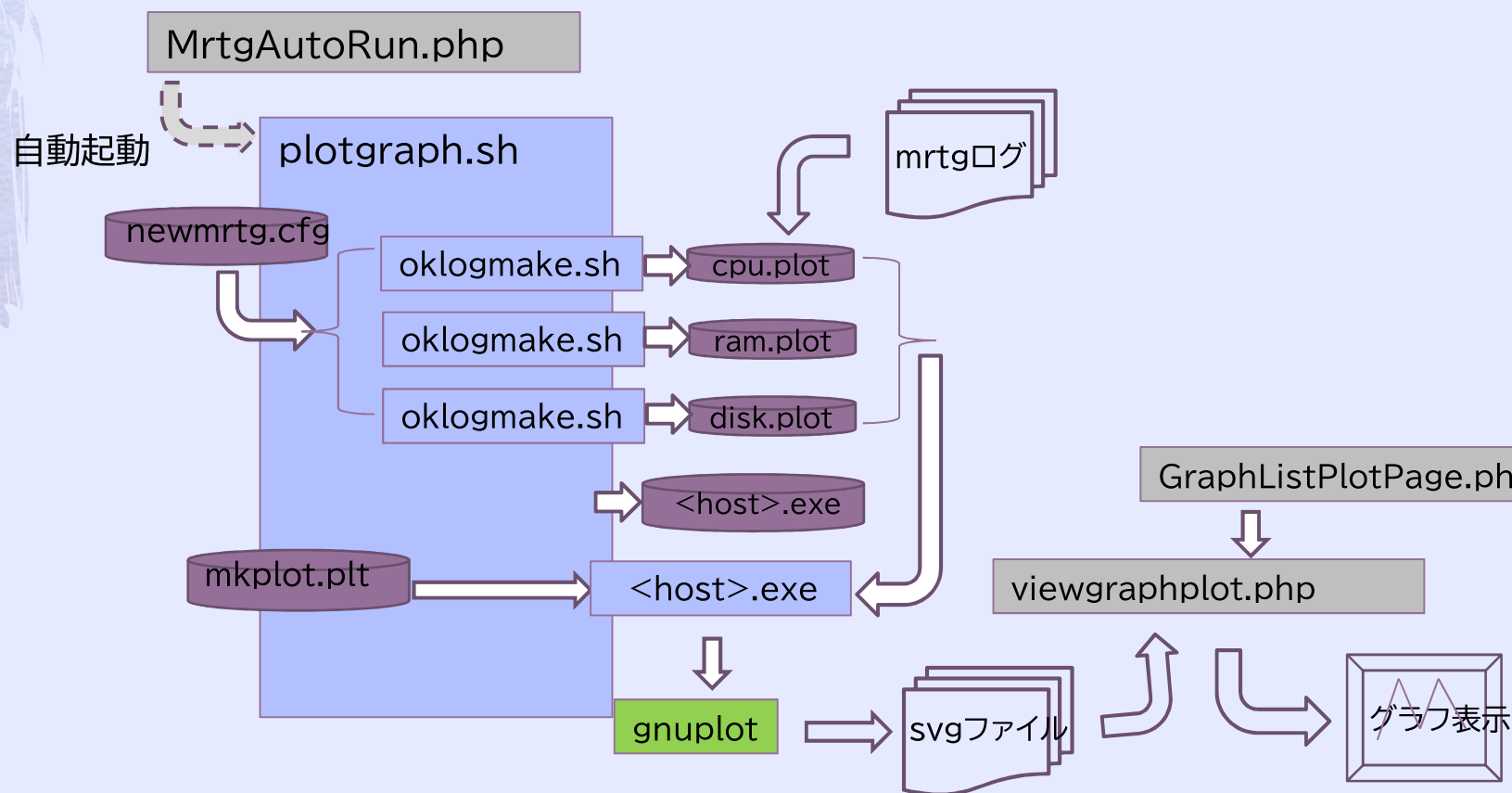
viewgraphplot.php

自動でplotgraph.shを呼び出す

mrtgログからCPU,RAM,DISKのデータを取得する

随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する

選択されたエージェントホストのグラフを表示する



プロットグラフ機能

2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加
vpath_gnuplot=gnuplotのパス

3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する
リフレッシュ間隔はモニターインターバル
参考:plotgraph.shをcrontabで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

4. グラフ表示

- メニュー「プロットグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

プロットグラフ機能

5. グラフ操作

5.1 グラフを表示、メール添付する

○ メニュー「プロットグラフ」選択、表示／添付するホストを選択、「グラフ表示／メール添付」をクリック

図 5.1.1 プロットグラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ
- プロットグラフ**

設定メニュー

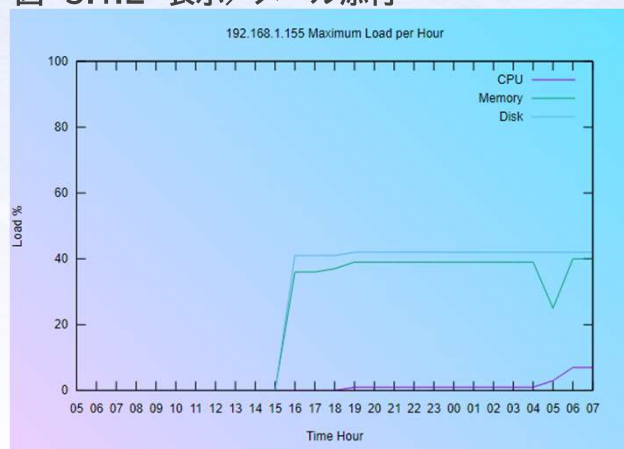
php ▼ プロットグラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示／メール添付」をクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要

	ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/>	192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ作成中
<input type="radio"/>	192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ作成中

グラフ表示/メール添付

図 5.1.2 表示／メール添付



○ メール添付する場合は、「メール添付」をクリック

プロットグラフ機能

6 その他

6.1 gnuplotの警告メッセージ

Webエラーログに以下のメッセージが出力される

line 0: warning: iconv failed to convert degree sign

解決出来ないので<host>.exe実行のstdout,stderrを/dev/nullで出力